

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

第3回 議事次第

日 時：平成24年10月25日（木）

午後3時～

開始場所：緑の館1階イベント室

1 開会

2 議題

- (1) 第2回検討会議のワークショップのまとめ
- (2) まちあるきの進め方について

3 第2回まちあるき（エリア中部）

- (1) 梅小路蒸気機関車館
- (2) 梅小路公園
- (3) 京都水族館
- (4) 嶋原商店街
- (5) 角屋もてなしの文化美術館
- (6) 島原住吉神社・社務所における取りまとめ

4 閉会

<配付資料>

- | |
|-----|
| 資料1 |
|-----|

 委員名簿
- | |
|-----|
| 資料2 |
|-----|

 座席表
- | |
|-----|
| 資料3 |
|-----|

 まちあるきの進め方について
- | |
|-----|
| 資料4 |
|-----|

 まちあるきコース素案
- | |
|-----|
| 資料5 |
|-----|

 第1回まちあるき ワークショップまとめ

委員名簿

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	大阪ガス (株)	京滋地区副支配人 コミュニティ室長	服部 博一
	オリックス不動産 (株)	京都水族館支配人	升本 忠宏
	京都駅ビル開発 (株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公社) 京都市観光協会	事務局長	山崎 晶子
	(公財) 京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場協会	専務理事	北島 誠一
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財) 京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活) 京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク (株)	営業開発部長	鈴川 和哉
	自治連合会 (大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	自治連合会 (七条自治連合会)	会長	西村 為彦
	浄土真宗本願寺派 (西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派 (東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠
	(公財) 角屋保存会	理事長	中川 清生
	西日本旅客鉄道 (株) (JR 西日本)	近畿統括本部京都支社総務企画課 (地域共生) 担当課長	平野 剛
	(学) 龍谷大学	学長室課長	花崎 正順
	龍谷ミュージアム	事務部次長	太田 功

「下京区西部エリア活性化」ワーキング・グループ会議 構成メンバー

所属	職名	氏名	備考
総合企画局	政策企画室長	柴山 薫	リーダー
産業観光局	商工部長	山本 達夫	サブリーダー
建設局	緑化推進・梅小路 公園再整備担当部長	大西 功	サブリーダー
下京区	地域力推進室長	松森 敏郎	サブリーダー

文化市民局	地域づくり推進課長	籾 哲也	
産業観光局	産業政策課長	原 昭彦	
	商業振興課長	小山 幸司郎	
	中央卸売市場第一市場 次長	林 眞佐男	
	産業振興課長	武田 淳	
	観光おもてなし課長	砂川 敬	
都市計画局	都市づくり推進課長	西村 健	
	都市計画課 調整担当課長	中西 朗	
	歩くまち京都推進室 企画課長	大井 貴之	
建設局	建設企画課長	福田 敏男	
	緑政課梅小路公園 再整備担当課長	的場 靖史	
下京区	総務・防災課長	藤本 信和	
	まちづくり推進課長	西山 圭児	
交通局	総務課長	西山 真司	
総合企画局	政策企画課長	西窪 一	事務局

平成24年10月1日現在

座席表①（緑の館）

谷口座長

事務局

グループ①

グループ②

グループ③

グループ④

くじ引きで分けたグループごとにお座りいただきます。

龍谷大学の皆様

京都市ワーキング・グループ会議メンバー

傍聴席及び記者席

座席表②（島原住吉神社・社務所）

グループ①

グループ②

グループ③

グループ④

まちあるきの進め方について

目的

- 全員で、エリアの魅力と課題を共有する。
 - ⇒ 全員で、同じコースを歩きます。
- 梅小路公園を中心にエリア全体を丁寧に歩いて、気づきを深める。
 - ⇒ 全3回のまちあるきを通して(今回は2回目・各回で回るエリアは別図参照)、エリア内を丁寧に見て回るとともに、エリア全体の規模を体験します。
- エリアの魅力だけでなく、残念な点も見つける。
 - ⇒ プラスを伸ばし、マイナスをプラスに変えることができれば、エリアの魅力アップにつながります。

「何もない」
「歩きにくい」ことも
見どころです

視点

- 各スポットの魅力と課題
 - ⇒ 今回は梅小路公園、梅小路蒸気機関車館、京都水族館、嶋原商店街、角屋もてなしの文化美術館
- スポット間の共通点と相違点
 - ⇒ 利用者層・繁忙期等の共通点・相違点がないか？
 - ⇒ 相乗効果・ミスマッチの解消が図れないか？
- 互いの行き来のしやすさ・歩きやすさと交通アクセス
 - ⇒ 互いに行き来がしやすいか？ それをしやすいするためには？
 - ⇒ 外から来た人は、どこから来て、どこへ向かうか？

今後のまちあるきを
通してチェックします

皆様の御協力

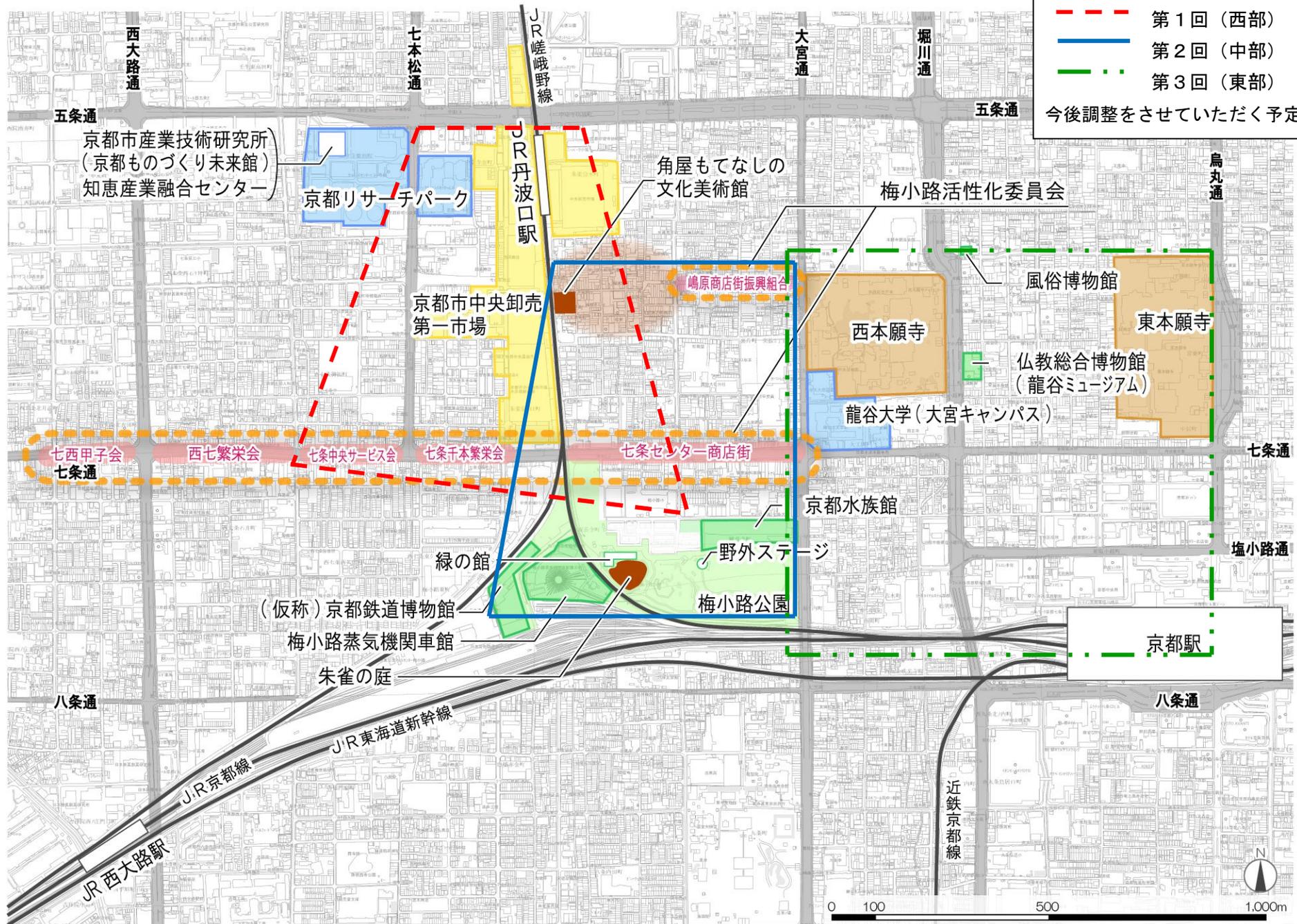
- 各スポットに関係される委員の方々にレクチャーを依頼
 - ⇒ エリア内の主要スポットを一通り網羅するとともに、委員の皆様にもまちあるきの企画に御協力をお願いしております。
- 龍谷大学様の御協力を得て、大学生も参加
 - ⇒ 若い皆様のまちの見方も参考とさせていただきます。
- 京都市職員（下京区西部エリアの活性化ワーキング・グループ会議）も参加

資料4 別図

まちあるきエリア素案

- 第1回（西部）
- 第2回（中部）
- 第3回（東部）

今後調整をさせていただく予定としています。



＜中央卸売市場＞

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都の食文化を支えている ・ 映画のセットのような昭和の街路風景 ・ イベントが多い ・ 何か発見できそうなイメージ ・ プロのエリア ・ 日本で最初にできた ・ 広大な敷地 ・ 市街地にある中央市場、歴史のある市場 ・ スケールが大きくてセリが活況している ・ 旬の食材を使った催しの開催 ・ 月一回市場を開放している ・ ごみのポイ捨てが少なく印象と違いきれいだった ・ 卸売市場の広い一帯が1つのコミュニティとなっていたこと ・ モーターの運転がおもしろそう ・ 食祭（菜）市が素敵 ・ 小売りをしてもらえる ・ スケールが大きく非日常空間 ・ 販売物の種類が多い ・ 駅チカ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面の確保（歩道の整備、発砲スチロール） ・ 雑然としていて、どこで何が行われているかわかりづらい →パネルの設置 ・ 毎年の改修費が多い ・ セリを観光資源に ・ 一般人の入場制限日が多い→観光者向けのツアー ・ 匂いがきつい ・ 殺風景 ・ 卸売場の近くにある喫煙スペースの場所の検討 ・ 市場周辺と協力してファミリー層・外国人向けのルート設備 ・ 気軽に買えるような雰囲気づくり ・ もう少し催しを行ってもよい ・ 観光客が鮮魚・青果を味わえる場所を充実させる ・ KRP などに来場する人に向けた情報発信

<丹波口駅>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生向けの設備（がある？） ・ レンタサイクル ・ 駅内がきれい ・ 市場と直結している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧千本通りへの歩道がない ・ 建物に魅力がなく、わくわくしない ・ 市バス利用者には不便 ・ 昼間の本数が少ない ・ サイクリングコースを作成し、レンタサイクル利用者の増加 ・ 構内が狭い ・ 歴史を感じられるものが少ない ・ 印象が薄い ・ 水族館と連携が必要では ・ 付近案内図がない ・ 利用者数の割に改札が少ない ・ 駅の南西側に出入り口があれば、七条側とつながりやすいのでは ・ 周辺に店が少ない ・ 駅が高架下にあることもあって暗い ・ 売店やコンビニなどを開店させたら明るくなって物騒でなくなるのでは ・ 電車の本数をふやせないか ・ 駅名を卸売市場があるとわかるような名前に変更すればよい

<大阪ガス・京都リサーチパーク>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代性がある ・ 研修事業が充実 ・ 道幅の広さ ・ 街並みの美しさ ・ スタバ・TUTAYA・レストランなど魅力的な施設の充実 ・ 伝統産業が近代建築にうまくいかされている（漆塗りのエレベーター） ・ 建物が綺麗。 ・ 伝統工芸を残すという取り組みをしながら、ベンチャー企業など若い企業も多く入っていて、多彩であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産技研の入居250社をうまく利用できそう ・ 見える化すべき（施設見学や体験コーナーなど） ・ 知名度が低い ・ 「無鉛えのぐ」を染髪剤やマニキュアに利用 ・ 入りにくい（雰囲気などの面） ・ 広報・宣伝不足 ・ 伝統産業など、なにか買いたいと思っても売っていない。 ・ 一般人とのなじみのなさ。 ・ 京都の伝統産業に子供が触れられる機会が少ない。 ・ クッキングスクールやフィットネスクラブはあまり市民に知られていない ・ 地元の人が入りにくい ・ 名前が長ったらしくてわかりにくい

<商店街>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱意のある人材がいる ・ 対面販売の良さ ・ 活気がある ・ 雰囲気がいい ・ なつかしい街並み ・ 地域・小学校と関わりがあること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶店などの、人が集まる場所がほしい ・ 閉店時刻が早い ・ 水族館への期待が大きすぎる ・ 商店街内の意思統合ができていないと改革などできない ・ 若者むけの商品が少ない ・ レトロさを売りにすべき ・ ゴミが多い ・ 市場との連携がほしい ・ 通行者の保護がされていない ・ やる気のある人についていけない人がいる ・ 南北格差 ・ 街路樹（プラタナス）が汚い、芸がないので樹種の変更を ・ 少しさびれた箇所も目立つ ・ 景観的にもっとハデな感じにできないか？明るいイメージにすべき ・ 何の変哲もなくおもしろくない ・ 跡継ぎがない

<全体・その他のエリア>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力のあるコンテンツがたくさんある ・ 七本松通りが歩きやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町全体の一体感がない（ゆるキャラ） ・ 食事をできるところが分散している ・ 緑が少ない ・ エリアの核を何にするのが難しい ・ 市バスなどに乗っている人が寄ってみたいくなる工夫 ・ KRP～七条の間（交差点など）の案内看板が乏しい ・ バリアフリーの強化 ・ ファミリー層や観光客が利用できる施設が必要 ・ 五条千本バス乗り場に自転車が止められていた ・ 若者が行こうと思う店が少ない ・ 人が集う場が少ない ・ 混然としているのでこれをつなぐ工夫が必要 ・ 「京都」というブランドをもっと売るべき 例えば、コンビニの外観を木造にして和風にするとか